

東部エリア



ほうふくじ
保福寺

天正10年(1582)、武田信玄の重臣で上野原城主の加藤景忠により開かれた。山門は唐破風の屋根を持つ。本堂はミャンマー政府認定のチーク材で平成25年に完成した。寺宝の「雲板」は、鎌倉末期の作。食事などの時を知らせるために使われたもの。

- 上野原市上野原3400
- 0554(63)0620
- 県指定文化財:雲板

中里介山の月見寺

小説家・中里介山(1885~1944)は、長編小説『大菩薩峠』の中で山梨県内の数々の地を舞台にしているが、保福寺が別名「月見寺」と呼ばれるのは、作中に「甲州上野原の報(保)福寺、これを月見寺と唱えるのは、月を見る趣が変わっているからです…」と書かれていることに由来する。山門前の石碑には、介山の書を刻んでいる。

甲府市の県立文学館には中里介山をはじめ、樋口一葉、村岡花子、太宰治、山崎方代ら、山梨出身ゆかりの作家たちのコーナーが常設されている。



ちよつとより道

甲州街道 上野原宿の名物
酒まんじゅう



大月市に伝わるおふくろの味
おつけだんご



いちのみやじんじゃ
一宮神社

境内にはスギやヒノキなどの大木が鬱蒼とそびえる。康永2年(1343)の創建と伝わる。甲斐国志には武田氏が一宮と二宮を建立したとある。社宝には古鏡2面と飛鳥時代の彫刻といわれる翁面2個がある。

- 上野原市西原5461
- 県指定文化財:弁財天女曼荼羅版木
- 県指定天然記念物:一宮神社の社叢



やぎゅうじんじゃ
箭弓神社

小菅丹波の領主・小菅遠江守伸景により文明10年(1478)に創建。8月の祭典では、小菅村の民俗芸能の一つで、伊勢から伝わったといわれる獅子舞が奉納される。「道の駅こすげ」へは車で10分。

- 北都留郡小菅村4641



うしくらじんじゃ
牛倉神社

上野原市の中心街にある神社。9月上旬の3日間にわたり開かれる例大祭は、吉田の火祭、谷村の八朔祭とともに郡内三大祭りとして知られる。境内の神牛をなでることで災いを祓うことができるという。

- 上野原市上野原1602
- 駐車場無し



くまのじんじゃ
熊野神社

300年続いているという県指定無形民俗文化財の「丹波山のささら獅子」は、7月中旬の祇園祭で奉納される獅子舞。1月7日の「お松引き」は、熊野神社から大木のソリに正月飾りなどを乗せ道祖神まで引き歩く伝統行事。

- 北都留郡丹波山村2771



ながさくかんのんどう
長作観音堂

鎌倉時代の簡素だが洗練された建築。かつて長谷寺という寺が廃寺になり、観音堂だけが残された。秘仏の如意輪観音像が納められている。5月3日の縁日には御開帳があり、安産祈願などの参拝客が多く訪れる。

- 北都留郡小菅村長作426
- 重文:観音堂 附獅子



ほううんじ
法雲寺

かつて妙台寺という巨刹があった地に立つ。寺宝の板碑には、阿弥陀三尊が、信仰者の臨終に際し、極楽へ引接する様子が線刻されている。紀年銘がないが、鎌倉時代と推定される考古資料。

- 大月市初狩町下初狩1450
- 0554(25)6355
- 県指定文化財:法雲寺弥陀三尊如来迎板碑

ちよつとより道

トレッキングコースも人気
岩殿山



- 大月市賑岡町岩殿160
- 0554(22)0172
- 県指定文化財:木造七社権現立像

真蔵院の七社権現像

熊野、山王、白山、蔵王、日光、伊豆、箱根の七体の権現像。室町時代の作といわれ、像高2m前後の桧材一木作り。岩殿山の中腹にある岩窟の“祠殿”に祀られていたもの。権現とは、仏や菩薩が民衆を救うために神や人の姿をとって仮に現れるもので、江戸時代の庶民に人気があった。拝観の際は予約が必要。

しんぞういん 真蔵院

かつて岩殿山全体を法域としていくつもの伽藍を有していた円通寺の別堂・常楽院の内庵だった寺。円通寺は応永年間(1394~1428)には、修験道の関東の中心地として栄えた。真蔵院には「七社権現立像」「木造十一面観音像」が伝えられている。岩殿山は気軽なトレッキングコースとして人気がある。



かせいじ 花井寺

寛和2年(986)、花山法皇が東国御幸の際、この地に草庵を結んだのが始まりと伝わる。寺宝の大殿若経は、安貞2年(1228)から230年もの歳月をかけて書写された貴重な仏典。猿橋まで徒歩20分。

- 大月市七保町下和田1219
- 0554(23)1536
- 県指定文化財:紙本墨書大殿若経502巻



みしまじんじゃ 三嶋神社

大月駅近くにあり、岩殿山を真北に望む。大同元年(806)の創建と伝わる。中世には小山田氏が守護神と仰いだ。御神体は松の巨木から彫った3体の神像の1つで、2体は猿橋と都留市田野倉の三嶋神社に納められている。

- 大月市駒橋1-3-10



ちよつとより道

日本三奇橋
猿橋と猿橋公園のアジサイ



大月市猿橋町猿橋
JR中央線猿橋駅から徒歩20分

国の名勝・猿橋とは…
岩国の「錦帯橋」^{かけはし}「木曾の棧」と並ぶ日本三奇橋のひとつ。長さ約31mで橋脚を全く使わず、兩岸から張り出した四層のはねぎによって支えられている。伝説では、西暦600年ごろ、百濟からやって来た志羅呼が、沢山の猿が^なながらあって対岸へと渡っていく姿からヒントを得て架けた橋という。





長生寺の中雀門
都留市指定の文化財。ここから山門へ梅並木が続く。

円通院の伽藍
山門、本堂、鐘楼、報恩塔
が並ぶ。

 P 64



都留 七福神めぐり



- 恵比寿神 用津院 都留市金井
- 福祿寿尊 広教寺 都留市大幡
- 布袋尊 円通院 都留市中央
- 大黒尊天 保寿院 都留市四日市場
- 毘沙門尊天 普門寺 都留市上谷
- 弁財尊天 長生寺 都留市下谷
- 寿老尊 本光寺 都留市朝日馬場



こうきょうじ 広教寺

建仁2年(1202)、将軍・源頼家の本願で開かれた。江戸時代には郡内でも最大級の寺院になり、四方に回廊を巡らした壮麗な建物だった。瑞宝殿には善光寺如来、豊川稲荷、七福神の福祿寿が祀られている。

■都留市大幡1541
■0554(43)3329



ちょうしょうじ 長生寺

文明元年(1469)、武田信昌によって開基され、その後小山田信有らが維持した。歴代の郡内領主の菩提寺として栄えた。総門と山門の途中に作られる中雀門を持つ寺は県内では数少ない。

■都留市下谷2954 ■0554(43)2690
■県指定文化財：紙本金地著色龍虎梅竹図六曲屏風、絹本着色釈迦三尊十六善神像、絹本着色小山田出羽守信有像

P 60



さいりょうじ 西涼寺

徳川家康の忠臣・鳥居元忠が谷村城に入った頃の創建。本堂には県内で唯一、仏師・西村公朝作の目の不自由な人が触って拜む「ふれ愛観音」が安置されている。都留市谷村を襲った大火に焼け残った儀秀稲荷社がある。

■都留市中央4-4-1
■0554(43)2340



えんりゅういん 円通院

応仁元年(1467)の開創とされる。寛永10年(1633)、谷村城主・秋元泰朝が現在地に移して円通院と改めた。本堂、山門、六角堂などの伽藍が整っている。江戸時代に造られた「元坂の石橋」が池に復元されている。

■都留市中央3-5-1
■0554(43)2504

P 62



ほうきょうじ 宝鏡寺

貞和2年(1346)、鎌倉幕府執権北条重時の九男・鶏岳永金が開山。本堂右手の庫裏は300年前の建築。108段の階段を登った先には、木造の羅漢像135体を納めた羅漢堂がある。境内には石造の羅漢像が並ぶ。

■都留市桂町1047
■0554(43)4459



宝鏡寺のヤマブキソウ

4月下旬から5月初旬にかけて、境内の裏山一帯に群生する「ヤマブキソウ」が一斉に開花する。低木のヤマブキに花が似ていることからその名がついた。ほかにも数種類の山野草が自生している。



お茶壺道中

毎年10月下旬に都留市内で行われる、徳川將軍家御用達のお茶(茶壺)を江戸城に運んだ宇治抹茶師の行列を再現するお祭り。長安寺には徳川家康から寄進された茶壺が寺宝として残っている。



ちょうあんじ
長安寺

天正13年(1585)創建、鳥居元忠が開基し、歴代領主の庇護を受けた。本堂は唐様寺院建築の基本様式を全て備えている。観音堂に祀られている聖観世音菩薩は武田信玄の守り本尊とも伝えられている。

- 都留市上谷3-6-30
- 0554(43)0850
- 県指定文化財:本堂附板札、経石



おいでじんじゃ
生出神社

生出三社の一つ。延長7年(929)の創立という。9月の例大祭である「八朔祭」は郡内三大祭りの一つ。本殿は柱を除く全面に見事な彫刻が施されている。裏山の生出山には山頂遺跡が発掘された。

- 都留市四日市場1066

■ 東部エリア

超伝導リニアの秘密を探れ!
県立リニア見学センター



都留市小形山2381
☎0554(45)8121



ちよつとより道
絶景の紅葉が続くドライブルート
丹波溪谷

水源の里のお土産をどうぞ!
道の駅どうし

南都留郡道志村9745
☎0554(52)1811

■ 東部エリア モデルコース
お祭りめぐり

